

東北学院大学経済学部 経済学科
新卒者VOICE

VOICE

野地 洋樹さん
 出身：宮城県
 高校：仙台市立仙台商業高等学校
 就職先：大和町役場

大学生活では県内外の友人や様々な専門の教授の方々と出会うことでたくさんの経験や学びを得ることができました。そして主体的に行動する大切さを学び、様々な視点から物事を考える視野の広がりを感じています。これは大学生活で多くの方と出会い、関わったおかげだと考えています。

VOICE

藤田 将志さん
 出身：福島県
 高校：福島県立平工業高等学校
 就職先：株式会社一条工務店仙台

オリエンテーションリーダーという、新入生の一週間のオリエンテーション期間に携わる活動ができ、とても積極的になることができました。この活動をしたことで、学部学科を越えたたくさんの仲間と出会い、新入生の新たな門出に立ち会えたりと、私にとってとてもプラスになりました。

VOICE

宍戸 真穂さん
 出身：福島県
 高校：福島県立福島東高等学校
 就職先：トライベック・ストラテジー株式会社

経済学科に入り、一口に経済学と言っても様々な分野があることを知りました。その中でも特に、地域経済学と計量経済学に興味を持ち、専門的に学ぶことが出来ました。将来もここで学んだ知識をもとにデジタルマーケティングの視点で、地域活性化に取り組みたいと思っています。

VOICE

布施 孝洋さん
 出身：宮城県
 高校：宮城県立佐沼高等学校
 就職先：株式会社アイリスオーヤマ

私は体育会系ラグビー部に所属しながら、文武両道に励んできました。教室では学科の友人と机を並べ、グラウンドでは精肉球を通じて仲間との時間を過ごしました。この4年間で得たものは、これから社会に出る私にとって何にも変えられない財産となりました。

社会のニーズに応えるカリキュラムのもと、多くの人材を世に送り出してきた経済学科。その卒業生は、東北各地の多彩な分野において活躍しています。

VOICE

丸山 悟司さん
 出身：宮城県
 高校：宮城県立白石高等学校
 就職先：株式会社ファミリーマート

先生や友人に恵まれ、充実した学生生活を過ごしました。経済学を学び、社会現象への理解を深められた他、少数人の演習では、より実践的な発表のスキルを習得できました。多くの学ぶ機会を得て、成長に繋がったと思います。

VOICE

角田 琴弓さん
 出身：福島県
 高校：福島県立楳高等学校
 就職先：株式会社東邦銀行

ゼミでは、貴重な経験をさせて頂きました。学内外での研究報告ではミクロ・マクロ経済学の基本的な理論を軸として、様々な社会問題へとアプローチする面白さを学ぶと共に、自身を取り巻く経済状況を見る際の視点が広がりました。ディベート大会では、論議の積み上げ方と相手に分かり易く伝える方法を学びました。

VOICE

安田 誠也さん
 出身：宮城県
 高校：角田高等学校
 就職先：東北労働金庫

経済学科に入り、一口に経済学と言っても客観的に多方面の角度から捉えられることを学びました。また、様々な価値観を持った友人と出会い、自分の考えの幅が広がりました。研究や勉強は大変でしたが、充実した大学生活を過ごすことができました。

VOICE

鈴木 汰生さん
 出身：宮城県
 高校：宮城県立広瀬高等学校
 就職先：大阪大学大学院 経済学研究科(進学)

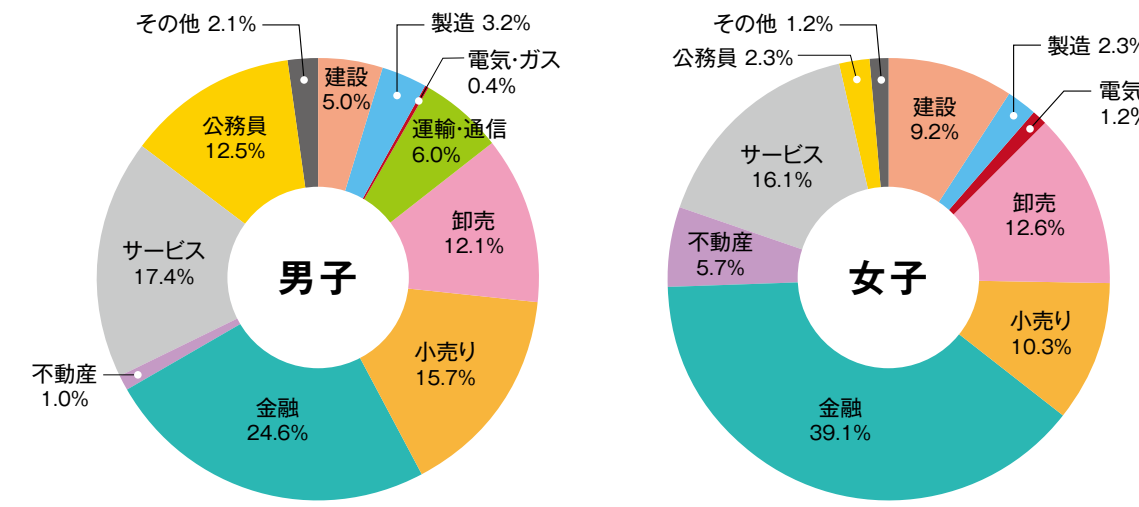
経済学は学べば学べば奥深さに気づかされ、心惹かれる学問です。4年間東北学院大学で過ごした今、そう思える自分があるのもこの大学の環境があつてこそです。私はあと数年だけ経済学の勉強を続けますが、この場所で学んだ事は決して上書きされるものではなく、今後も私を支えてくれるかけがえのないものだと思っています。



東北学院大学
 TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

2018
経済学科ガイド
 東北学院大学経済学部

2016年卒 業種別就職状況 [男女別(進学・就職者数/進学・就職希望者数)]

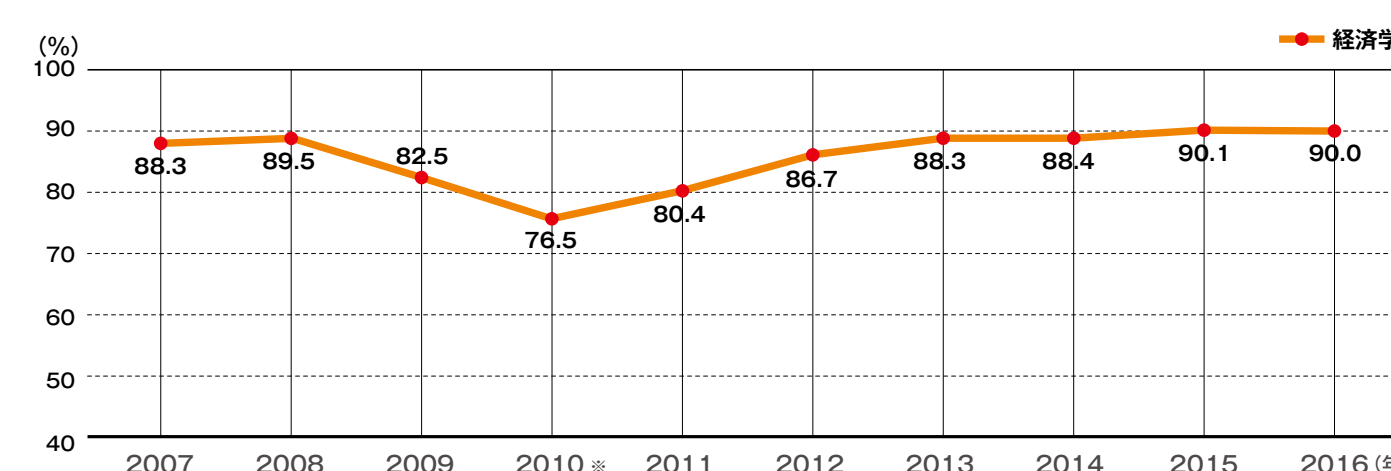


経済学科の主な就職先(抜粋)

- 建設業
 - 株式会社宮城
 - 東北発電工業株式会社
 - 積水ハウス株式会社
 - セキスイハイム東北株式会社
 - タマホーム株式会社
- 製造業
 - アイリスオーヤマ株式会社
 - 科研製薬株式会社
 - 大和冷機工業株式会社
 - 凸版印刷株式会社
- 電気・ガス・熱供給
 - 東北電力株式会社
 - 東京瓦斯株式会社
- 情報通信業
 - 株式会社NID東北
 - サイバーコム株式会社
 - 三菱電機住環境システムズ株式会社
 - 株式会社CS東北
- データサイエンス業
 - 株式会社マクロミル
- 運輸・郵便業
 - 東日本旅客鉄道株式会社
 - 東京地下鉄株式会社
 - 日本通運株式会社
- 卸売業
 - 株式会社パルネット
 - 株式会社島商店
 - 株式会社スゲン
 - 株式会社IDOM
 - 服部コーヒーフーズ株式会社
 - 渡辺パイプ株式会社
 - リコージャパン株式会社
 - 日本食研株式会社
- 小売業
 - 株式会社ツルハ
 - 株式会社ヤマザワ
 - 株式会社王堂
 - 株式会社ダイユーエイト
- セブン-イレブン・ジャパン
 - 株式会社セブン
 - 宮城日産自動車株式会社
 - 株式会社ヤナセ東北
 - 株式会社ビッグモーター
 - 宮城ダイハツ販売株式会社
 - 株式会社福島トヨタ自動車
- 金融・保険業
 - 株式会社きらやか銀行
 - 株式会社大和リビング
 - 株式会社仙台銀行
 - 株式会社荘内銀行
 - 株式会社北日本銀行
 - 株式会社青森銀行
 - 株式会社みちのく銀行
 - 株式会社山形銀行
 - 株式会社秋田銀行
 - 株式会社大東銀行
 - 株式会社野村證券
- 不動産・賃貸
 - 大和リビングマネジメン株式会社
 - 株式会社キューリー
 - 株式会社アクトイオ
- 学術研究・専門・技術サービス業
 - YAC税理士法人
- 宿泊業、飲食サービス業
 - 株式会社星野リゾート
 - 株式会社ベガス
- 教育・学習支援業
 - 学校法人東北学院
- 医療・福祉
 - 日本年金機構
 - 日本郵便株式会社
 - みやぎ生活協同組合
- サービス業
 - 宮城県商工会連合会
 - エン・ジャパン株式会社
- 公務員
 - 警察官
 - 消防員
 - 県職員
 - 市職員
 - 町職員
 - 国家公務員

その他にも多数の企業へ就職しています。詳細はWEBへ!
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/career/data/02.html>

経済学科卒業生に対する就職率



出典/東北学院大学
 注) %は就職者数を就職希望者数で割ったもの ※ 東日本大震災の影響による。

総合演習

総合演習は、1年生の総合的な導入科目です。「経済学とは何か」、「大学においてどのように勉強したら良いのか」について考え、また学内の施設の有効な活用方法を教えます。この科目では、現代のグローバルな経済社会における課題、経済と関連するさまざまなテーマを取り上げて、共に考え、討論します。また、新聞や本を読み、自ら研究テーマを発見し、それをレポートにまとめて発表します。担当教員がレポートや発表を添削し、改善点をコメントすることで、リサーチリテラシーを高める科目です。

資本主義経済入門 I・II

この講義では、私たちが日々行う経済取引を、「資本主義」というメカニズムを介して眺めます。およそどのような「社会」であっても、その社会が存続していくためには、人々の生活を維持するために必要なモノが、繰り返し「生産」されて「分配」されなければなりません(=これを「社会的再生産」といいます)。「資本主義」と呼ばれる経済体制の特徴は、そうしたモノの多くが、「市場」での取引を通して行われる点にあります。「市場」と「社会的再生産」との基本的な仕組みを理解して、「経済」を見る目を養う出発点に立ちましょう。



ミクロ経済学 I・II

ミクロ経済学は、財の取引が行われる市場(しじょう)がどのように働いて取引数量・価格が決まるのか、人々や経済全体がどのような影響を受けるのかを明らかにします。良い影響を受けない場合には、どうすれば良くなるのかを考えます。数学やグラフを用いることから、現実から遠いように見えますが、実は身の回りの出来事や背景や解決策を論理的に説明・提案するための基礎となる科目です。講義では、学んだ知識を応用して、新聞・テレビなどで見られる身の回りの経済現象を説明できる力を身につけることを目標にしています。



都市経済学・都市空間経済学

都市には空間的な広がりがあるので、移動費(通勤時間)を考慮すれば、消費者(家計)は近くの店舗(職場)を好む傾向があります。そのため、企業間の距離が縮まるほど顧客の奪い合いは激化し、都心から遠ざかるほど地価は下がって、住宅の敷地は広くなることが観察されます。また、地域を限定すると、交通事業のように独占に近い経営体も見受けられ、しばしば価格規制の対象になります。授業では、これらの事象の理論的な裏付けをしながら、ピークロード・プライシング、空間的競争、土地税制の経済効果等について学習します。



東北経済論

東日本大震災の発生以降、「東北」のあり方を見つめなおす時期にさしかかっています。では、そもそも「東北」の経済は、どのような構造を持っているのでしょうか。また、どういった特徴がみられるのでしょうか。これらを深く理解するために、この講義では、日本の近代から現代に至るまでの「東北」の経済と開発の歩みに着目し、いくつかの時代に区別して考察を行います。東北各県の各地域や、私たちの身近な都市として仙台市や北上市などで取り組まれた事例なども取り上げながら、「東北」の過去から学び、現在・未来について考えます。



e-ラーニング

経済学部では、学生の皆さんが講義内容をより深く理解できるように、e-ラーニングを導入しています。manaba courseを活用している講義では、スマートフォンまたはパソコンを用いて、問題演習、課題提出、意見の交換およびグループワークなどを行うことができます。講義中に、先生が皆さんの意見をresponにて収集するときは、他の人が先生の出した質問に対してどのように答えているかを知ることができ、さらに、その意見自体を他の人がどう捉えているかを知ることができます。自宅では、提出したレポートの課題に対して簡単に意見を交換することができます。このように、いつでも勉強できる e-ラーニングを使って、大学内だけの勉強だけでなく空き時間を利用して、より高いレベルで経済学の習得を目指しましょう。

経済を読み解く力が身につく経済学科カリキュラム

多彩な科目の「講義」を揃え、
少人数で行なう「演習」も全学年にあります。
目的意識を持って勉強することで
自分を高め、社会に貢献できる力が身につきます。

経済学科の理念・目的

時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身につけるように基礎理論から現実の問題や政策を段階的に学習する。

経済学科の到達目標

1. 国内外の経済状況を理解し、説明できる
2. 経済モデルを用いて経済状況および特徴を説明できる
3. 統計データを活用して経済状況を分析できる
4. 今日の経済の動きを歴史的背景から理解する
5. 東北地域の経済状況および特徴を説明できる
6. 今日の経済が直面している問題が何かを見出し、改善策を考えることができる
7. 経済社会についての思想や理論の概要を理解する
8. 経済学の論理的思考を活かし、自分の意見をわかりやすく伝えられる

主キャンパス		泉キャンパス [1・2年]		土樋キャンパス [3・4年]			
専門教育科目	第1類	コア(基礎科目)	ミクロ経済学入門 I・II マクロ経済学入門 I・II ② 資本主義経済入門 I・II	経済統計学 I・II 情報リテラシー I・II	資本主義経済論 I・II ミクロ経済政策論 マクロ経済政策論	国際貿易論 貿易政策論 財政学 I・II	金融論 I・II 日本経済入門 経済数学
	第2類	理論・思想					
	第2類	産業・政策					
	第2類	世界・日本・東北					
	第3類	総合研究	① 総合演習				
第4類	1系	資格講座					
	2系						
	第5類						
教養教育科目	TGベシツフ	人間的基礎	聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想	市民社会を生きる キャリア形成と大学生活	地球社会を生きる 科学技術社会を生きる		
	TGベシツフ	知的基礎	数理的思考の基礎 統計的思考の基礎 情報化社会の基礎	読解・作文の技法 研究・発表の技法	科学的思考の基礎 メディア・リテラシー		
	学教科	人文系	哲学 芸術論	歴史学 倫理学	文学 文化人類学	地理学	
	学教科	社会系	心理学 社会学	法学入門 現代政治入門		日本国憲法 社会福祉論	東北地域論
学教科	自然系	環境の科学 自然の科学	生命の科学		健康の科学 先端の科学と技術		
地域教育科目			震災と復興		地域の課題 I・II		地域課題演習

演習 I・II・III [稲見ゼミ]

テーマ 日本の産業を読み解く

演習内容 日本の経済を企業の立場から考えます。具体的には、個別の産業についてまとめられた本や産業の歴史に関する本を輪読し、産業間あるいは同一産業における企業間の相違を知ることをきっかけとして、日本経済への理解を深めます。演習は、毎回担当者が発表を行い、その後、全員で発表内容について議論する形で進められます。また、学年が上がるにつれて、グループで取り組むことが減り、個人で取り組むことが増えていきます。演習を通じて、参加する全ての学生が社会において必要とされる能力を身につけることを目指しています。



- 目標
1. 自分の関心のある産業において、自分で問いをたてることができる。
 2. 予想される答えを何らかの方法を用いて裏づけることができ、結果を論理的な文章にまとめることができる。

演習 I [2年生] 演習 II [3年生] 演習 III [4年生]

演習 I では、企業をミクロの視点で考えることに取り組みます。様々な産業についてまとめられた本を輪読し、日本の産業に関する知識を一つずつ増やしていきます。企業に興味関心を持ってもらうことを大切にしています。毎回、担当グループが発表を行い、その後、全員で発表内容について議論します。また、演習を通じて自分達が興味を持った企業を一つ選び、その企業に関する問いをたて、レポートをまとめてもらいます。

演習 II では、企業をマクロの視点で考えることに取り組みます。引き続き、様々な産業についてまとめられた本を輪読するとともに、経済の歴史に関する本を加えて輪読します。企業に関する理解を深めてもらうことが狙いです。演習 II では、全員で発表内容について議論する点を除けば、ほとんどすべてのことを個人で担当します。演習 I と大きく異なる点です。また、演習を通じて興味を持った企業を一つ選び、その産業に関する問いをたて、レポートをまとめてもらいます。

演習 III では、主に、卒業論文の執筆に取り組みます。演習 I と演習 II で培った日本の産業に関する知識を基に、日本の産業に関する問いを自分でたて、予想される答えを経済学的に裏づけることが求められます。また、卒業研究報告会で、約一年かけて取り組んだ成果を発表してもらいます。



- これまでの論文テーマの例
- なぜ、今後の建設業界は低迷すると言われてのいるのか?
 - 協同組織金融機関としての労働金庫は必要か
 - 「銀行はサービス業」と言われているのはなぜか
 - 親子上場はなぜ減少したのか
 - 中小企業の抱える後継者問題について

2017年の他のテーマ(一部)

- | | |
|-------------------------------|---|
| アレイ ウイルソンゼミ 今日の経済と企業 | 伊藤倉正可ゼミ リテール金融の現状と課題、そして将来のあるべき姿について考える |
| 倉田 洋ゼミ 日本経済をとりまく国際経済問題を考える | 原田善教ゼミ 現代資本主義経済分析 |
| 前田修也ゼミ 経済指標を読む | 大塚芳宏ゼミ データを読み解く |
| 小沼宗一ゼミ 経済思想 | 舟島義人ゼミ 景気循環 |
| 白鳥圭志ゼミ 現代日本経済入門 一極差の問題を中心に | 谷祐可子ゼミ 環境と経済の関わりを考える |
| 千葉昭彦ゼミ 「まちづくり」から地域経済・地域問題を考える | 舩谷謙二ゼミ 経済学の論理と倫理 |

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

- 本学は、次の方針に基づき学士の学位を授与する。学生は、各学部学科における卒業所要単位の修得を中心とする学修活動により、これらの方針にそった学修成果をあげることが期待される。
- ① よく生きようとする態度をもつこと
 - ② 知的活動を続けるための基本的技能を身に付けること
 - ③ 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を身に付けること
 - ④ ものごとを広く多様な視点から認識し、考えることができること
 - ⑤ 課題解決のためにさまざまな学習成果を総合的に活用することができること

詳しくは大学概要 (Syllabus) を参照してください。

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/career/data/02.html>

